



細川 幸男 議員
(無会派)

一括質問方式

市独自の農業政策を尋ねる

問……………

昨今、話題のTPP環太平洋パートナーシップ協定交渉に大筋合意するニュースが報道された。本決まりになると海外から安価な農産物などが輸入され、現状でも厳しい日本の農業は、さらに厳しくなると思われる。TPPとは関係なく、一般的に、農家人口は高齢化が進み減少が予測され農家が自然消滅する等と思われがちであるし、また、地球は温暖化が進み、そういういった気候変動によ

る水不足等で食料不足を招き、食糧危機も予想されている。

このような中で、日本国は工業製品の輸出大国であり、政府は総合的に判断し国民の利益を守るために進めたことと思うが、一人の農業人としては残念に思う。

答……………
農林水産省による農業センサスの平成27年概数値では、全国でこの5か年、2割の農業就業者が減少したと報告している。

また、市では、人口減少対策として、「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定した。その中で、優先課題を「産業振興・雇用確保」と「少子化対策・子育て支援」とし、人口減少抑制と人口構造の若返りに取り組む基本的方向性を示している。



特産品わさびの更なる振興を

問……………

達曾部地区でわさび栽培が始まって100年である。先般市長が100周年記念祝賀会に出席した感想と、本市特産品の中のわさびの位置付けは。

わさびは、遠野市の特産品の中でも高い知名度を持ち、和食には欠かせない重要な位置付けにあると捉えています。

さび6トンから8トンに、畑わさびは0から35トンに、面積は根わさび3haから3・4haに、畑わさび0から4・6haを目標とし、特用林産品として生産量の増加を推進する。

また、市では、人口減少対策として、「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定した。その中で、優先課題を「産業振興・雇用確保」と「少子化対策・子育て支援」とし、人口減少抑制と人口構造の若返りに取り組む基本的方向性を示している。

答……………

生産者約20名、関係者を含めて50名ほどの祝賀会で、先人の想いを語りながら、さらにそれを飛躍させようという意気込みと、100年という重みを感じ取ることができた。

来年度からの第2次農林水産振興ビジョン(タフ・ビジョンII)の、生産量や販売額などの目標数値は。

農家支援策は、ASTパワーアップ事業で財政支援措置(補助金)を講じている。



達曾部川の清涼な水でハウス栽培される特産品の根わさび

問……………

花巻市が県内の自治体で初めて20歳から5歳刻みで40歳までの若年層を対象に、胃がん予防のためにピロリ菌検査を導入した。本市でも導入する考えはあるか。

平成25年度実施した検査では、胃がん3人、肺がん2人、大腸がん1人、乳がん2人、子宮頸がん3人の計11人で、受診者数1万人当たり約8人のがんが見られた。

答……………
住民検診としてのピロリ菌検査の導入は、国による指針や花巻市の検証結果の情報収集などを行い、当市の医師会、検査機関等からも指導・助言をいただきながら、バリウムによる胃X線検査との併用の検討を進める。



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

○茨城県教育委員の障害児出産差別発言と、教育現場での障害児(者)教育について